

子どもたちの「笑顔を育む」新たな拠点

フリースクール「Smile Farm かんまき」を設立

現在、全国的に不登校の状態にある小学生・中学生が増加傾向にあり、令和3年10月の文部科学省の発表では、「19万人を超え、過去最多を記録した」とされています。本町においても、様々な要因により不登校やひきこもりとなっている小学生・中学生が一定数いることから、「誰一人取り残さない教育」を推進するにあたり、そうした子どもたちを孤立から守るため、**令和4年9月に「Smile Farm（スマイルファーム）かんまき」を設立**しました。当校において、「安心して過ごし、学ぶことのできる居場所」を提供するとともに、**子どもたちが夢や希望を持ち、困難を乗り越える力を身につけられるよう、一人ひとりに寄り添ったサポートを行う**ことで、学校復帰や社会的自立を子どもたちと一緒に目指していきます。



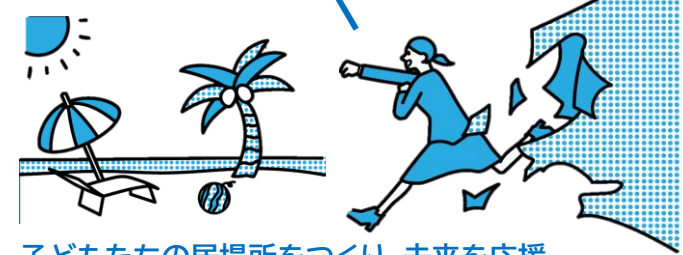
不登校児童生徒を取り巻く情勢

悩みを抱える子ども、保護者たちは増加の一途

わが国では少子化の進行に歯止めがかからない状況が続いていますが、それにもかかわらず、文部科学省の調査によると、不登校児童生徒数は過去最多を記録したとされています。原因は様々ですが、増加の背景には「新型コロナウイルス感染症拡大の影響」と「生きづらさの低年齢化」があるようです。学校に通えない子どもたちが増えると同時に、悩みを抱える保護者も増えていきます。また、調査で子どもの居場所、保護者が相談できる場所が求められていることも明らかになりました。



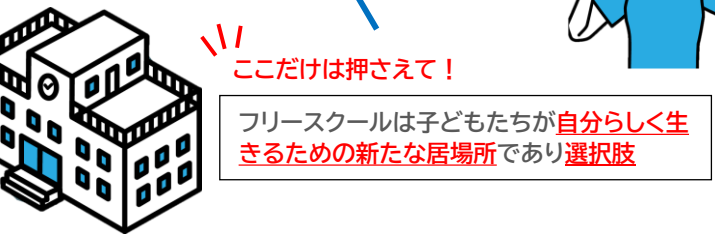
01 QUESTION フリースクールとは？



子どもたちの居場所をつくり、未来を応援

日本におけるフリースクールの定義は、何らかの理由により学校に行けなくなってしまった不登校等の子どもたちが、在籍する学校に代わり通うことのできる施設とされています。上牧町が運営するフリースクールでは、学校に通うことができない子どもたちの居場所を提供し、社会とのつながりを感じながら、自立するきっかけ、また将来の夢を見つけるきっかけをつかむ場所として、学習面と精神面の両側面からサポートを行います。

02 QUESTION 適応指導教室との違いは？



子どもたちの「こうしたい、こうなりたい」に寄り添う

適応指導教室は、最終的に不登校を克服して学校に戻すことを目的としています。フリースクールは、学校復帰だけでなく、子どもたちの居場所づくりや社会的自立を目的としています。「Smile Farm かんまき」では、子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所を提供するとともに、さまざまな活動、体験、学習支援、相談を通じて、子どもたちのこれから「こうしたい、こうなりたい」に寄り添います。

03 QUESTION 毎日通わないといけない？



はじめての「第一歩」を大切に、柔軟に対応

「Smile Farm かんまき」では、原則週に3日（毎週火曜日、木曜日、金曜日）を開校日としています（年末年始・祝日除く）が、最初は週に1～2日通うところからスタートして、慣れてきたら通学日を増やすこともできます。子どもたちにとって本校に通うことが、未来へ踏み出す「第一歩」になりますので、この想いを大切に、それぞれの子どもたちに合った無理のない環境づくりに柔軟に対応します。

04 QUESTION 利用料はかかる？



原則利用料なし、保護者負担を最小限に

民間のフリースクールでは、一般的に月額利用料が発生しますが、「Smile Farm かんまき」では、保護者負担を最小限に抑えるため、屋外活動への参加などにかかる実費負担を除き、原則利用料の徴収は行いません。
（想定される主な実費）
● 屋外活動における交通費、入場料
● 持込教材費用（教材の持込は任意）



Smile Farm かんまき の環境

その① 遊休公共不動産の活用

上牧町では、地域課題の解決に資する取組を推進するため、これまで遊休状態であった旧JAならけん上牧出張所（農協）として使われていた建物を改修しました。

「Smile Farm かんまき」の開校にあたり、子どもたちを支援する事業拠点として、新たに整備された当該施設を活用します。



その② アイランドキッチンの整備

「Smile Farm かんまき」の大きな特徴のひとつとして、2階フロアにアイランドキッチンが整備されています。

これは、食を通じた新たなコミュニティの創出を図るために整備されたもので、本校においても、子どもたちが様々な体験を通じて成長できるよう、料理体験やまちづくり活動などにおいて活用していく予定です。

／ 木目調の素敵なキッチン ／



Smile Farm かんまき の特徴

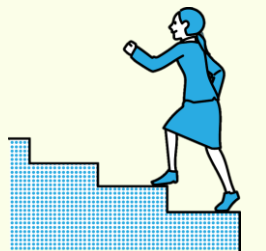
その③ 出席扱いになる

「Smile Farm かんまき」では、学校と連携し本校に登校した場合、原則出席として取扱います。これは、令和元年10月25日付文部科学省通知「不登校児童生徒への支援の在り方について」において、一定の要件を満たす場合、校長は指導要録上の出席扱いとすることとされていることによるものであり、学校復帰や社会的自立に向けて懸命に努力する子どもたちへの支援のひとつとなります。

その④ 官民連携による運営

「Smile Farm かんまき」は、特定非営利活動法人（NPO法人）らくまち」という法人が運営しています。本校では地域との交流やまちづくり活動を通じて、子どもたちに様々な経験と居場所、また将来について考えるきっかけや動機づけの機会を提供することを想定しており、「滝川の清らかな水辺創造計画」や「バリアフリー基本構想」の策定など、本町のまちづくりへの参画実績が豊富な当法人と官民連携により事業展開していきます。

／ 上を向いて歩こう～♪ ／



11：00		11：10	11：20	11：35	12：15	13：00	13：15	13：30	14：50		15：00	
↑ ある日の1日のスケジュール例		OPEN	準備	脳トレ	学習（復習やプリント） / 日本人スタッフによる英語レッスンなど	お昼休み	サークルタイム	移動	体験活動 with 地域の皆さま 地域活動 / 制作活動 / 料理 / ゲームなど		終礼	CLOSE
やりたいことをみんなで一緒に考える		OPEN			学習TIME		お昼休み		体験学習		CLOSE	
「Smile Farm かんまき」には決められた登校時間や時間割（プログラム）はありません。子どもたちは好きな時刻に来て、好きな時間に帰ります。スタッフと子どもたちみんなで一緒に考えて何をやりたいのかスケジュールを決めます。		スクールがOPENしたら好きな時間に登校して準備をしましょう。最初は脳トレドリルからSTARTです！			宿題やプリント、持込教材などを使ってしっかり勉強。わからないところがあればスタッフが個別にレッスンします。オンライン環境も整備されており、将来的には学校とつながりも。		お弁当の子も、お店で買ってくる子もみんなで一緒にランチタイム。その後はスタッフも一緒に輪になり、このあとの活動の準備や説明を行ったり、次回以降の予定について話し合ったりします。		地域の皆さまの協力を得て、まちあるきをしたり、公園でスポーツ、また、近くの図書館に行ったり、町内のお店の見学をしたり、農業体験をしたり・・・とスクールの外に出て体験学習をする日もあれば、スクール内でワークショップをしたり、キッチンを使って料理をしたり、アート作品の制作活動をしたりする日もあります。		終礼を行い、下校します。（15：00）まだ勉強したいという子は、16：00まで残ってもOK！	

Smile Farm かんまき 利用手続きの流れ(例)

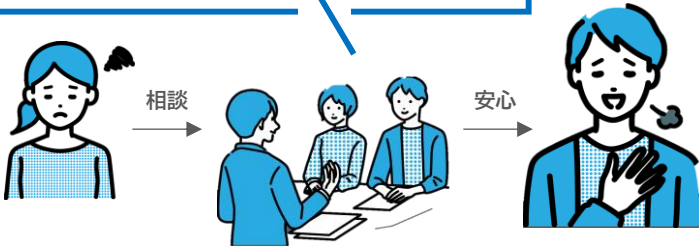
① 学校へのヒアリング

町内小中学校に不登校児童生徒の状況に関するヒアリングを行い、あわせて対象児童生徒（保護者）への事業紹介と意向確認を行います。

② 事前面談

学校へのヒアリング及び対象児童生徒（保護者）への意向確認ののち、利用希望者との事前面談を実施します。（教育委員会及び事業者）

05 QUESTION 学校からの紹介が必要？



関係機関と連携し、必要な支援と居場所を提供

利用にあたっては学校経由での申請となりますので、基本的には各学校と連携しながら状況把握や意向確認を行います。ただし、町の社会福祉協議会をはじめ、関係機関と連携しながら、事業の紹介を行っていますので、お気軽にご相談ください。

③ 申請書の提出

対象児童生徒（保護者）は、利用を希望する場合、学校又は事業者経由で教育委員会に所定の申請書を提出します。

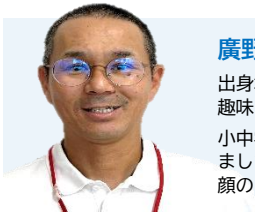
④ 決定通知の送付

教育委員会は、申請書の提出があったときは、承認・不承認の通知を利用希望者に対し送付します。

Smile Farm かんまき スタッフ紹介

私たちが全力でサポートします！

「Smile Farm かんまき」では、教員免許や認定心理士の資格を有したスタッフが、子どもたちのサポートを行います。子どもたちがあるべき姿を取り戻せるよう、寄り添います。



廣野 泰清

出身地 天理市
趣味 野球
小中学校で教員をしていました。子どもたちの笑顔のために頑張ります。



土肥 美香

出身地 上牧町
趣味 キャンプ
認定心理士の資格を生かして、子どもたちの気持ちに寄り添います。



浅井 紀美子（運営）

出身地 大阪府
趣味 釣り
子どもたちが自分らしく、楽しく過ごせる居場所を提供します。



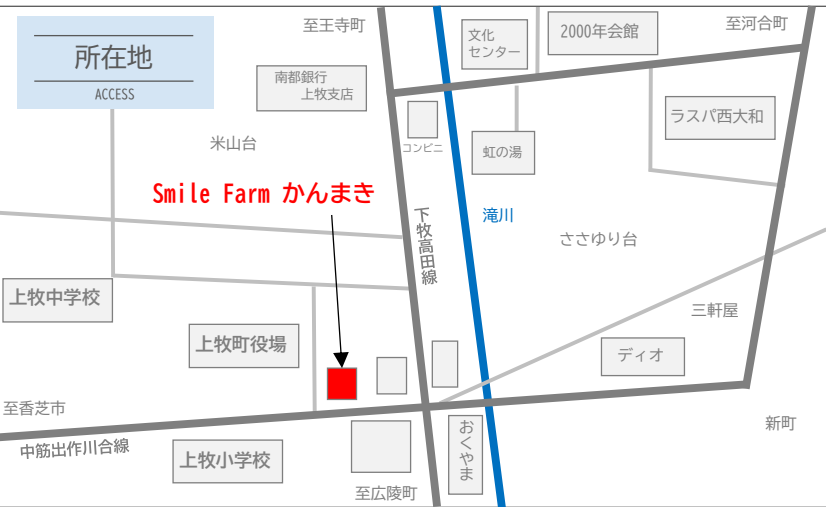
柳谷 和花子（運営）

出身地 広陵町
趣味 よさこい
ほっころのんびり自分のままで、一緒に楽しい時間を過ごしましょう。



廣見 聡子（運営）

出身地 大阪府
趣味 旅行
子どもたちの笑顔をたくさんつくれるよう、精一杯頑張ります！



問合先

CONTACT

開校日 / 毎週 火・木・金
※ 年末年始・祝日を除く
時 間 / 11:00 ~ 15:00
駐車場 / あり

Smile Farm かんまき

住所 / 上牧町大字上牧3347番地
担当 / 上牧町教育委員会事務局教育総務課
TEL / 0745-76-2528（内線135）
Mail / kyousou@town.kanmaki.lg.jp
※ 最新の情報は町ホームページをご確認ください。



ゆりちゃん



官民連携 上牧町フリースクール

Smile Farm KANMAKI

すまいるふぁーむ かんまき

上牧町教育委員会